～夢・未来へ～
町民と議会をつなぐ

第103号
令和6年10月16日

河津町議会だより

令和6年
12月 3月 9月 6月
定例会毎に発行

みんなでみんなの盆踊り

P. 2～P. 4 決算審査特別委員会
▶令和５年度決算を認定
P. 5 第３回定例会
P. 6～P. 9 町政を問う
▶一般質問（４人）
P.10 議会改革特別委員会
P.11 常任委員会・月例会
▶委員会の活動
P.12 議会のうごき・一部事務組合
P.14～P.15 議会の新編成
P.16 私の一言
▶みんなでみんなの盆踊り 実行委員長／北島　正男
▶みんなでみんなの盆踊り 全体統括／榎原　なつ美

YouTubeで
議会映像配信中

河津町議会
WEBサイト

町民の役に立ったか！　行政の成果を議会が審査

一般会計決算
48億2150万円

令和５年度決算を認定

議員による「決算審査特別委員会」を組織し、役場各課の成果と決算を９月５日より７日間にわたり精査し意見を付帯して認定した。

――決算審査特別委員会――

委員長　大川良樹　　副委員長　渡邊昌昭

委　員　正木誠司、北島正男、桑原 猛、遠藤嘉規、上村和正、渡邉 弘、稲葉 静、宮崎啓次

主要な施策の成果は以下の通り。

●生活者、事業者に対する支援　エネルギー・食料品などの物価高騰に対して。

住民税非課税世帯給付
１世帯３万円×911世帯
＝2,733万円
〃(追加)７万円×892世帯
＝6,244万円

公共交通・運送事業者へ
燃料高騰対策として
641万円

プレミアム商品券2,970万円

プレミアム工事券845万円

●予防接種事業 助成

・インフルエンザ 455万円
高齢者対象で1,812人が接種し自己負担は2,000円。

・肺炎球菌　48万円
65才～１回のみ
96人が接種

●こども医療費 助成 2,263万円

高校３年生までの子どもが受診した9,853件の自己負担分を助成。

●幼、小、中学校の給食費 無償

町の助成と、コロナ対策地方創生交付金を活用し、令和５年度は無償とし、保護者のご負担軽減とした。

●行政事務包括業務委託　１億1,704万円

従来の委託業務からバガテル公園(別途契約)と保険年金業務を外し、(株)共立ソリューションズに委託。

・回覧板の配達 ・マイクロバス ・町営バス ・町バス
・不法投棄の監視回収 ・放課後児童クラブ ・介護保険事業支援
・踊り子温泉会館 ・花卉園 ・学校給食センター ・文化の家図書館
これら11業務の管理、運営、運行業務

不法投棄の状況

町民の役に立ったか！　令和５年度決算

●町内インフラ整備の工事費

・町道補修　3,893万円
（峰・川津筏場地内の舗装、小鍋地内路肩補修など）

・道路改修、歩道改良　2,575万円
（側溝改修など）

・橋梁長寿命化　１億2,664万円
（谷津浜線舘橋・奥原１号線無名橋・萩ノ入１号線初景橋）

・稲梓川・小鍋川 浚渫 1,788万円

・大鍋地区星原 治山　3,312万円

・見高地区 護岸嵩上げ 6,401万円

●道路・河川設計委託

・都市計画道路
浜峰線測量設計
1,313 万円

・沢田川予備設計
2,341 万円

●中学校グラウンドと体育館の修繕　5,093万円

グラウンドに露出した小石の除去・修繕。体育館の屋根修繕。

●景観計画策定の委託料　506万円

景観を守ることと壊すことの抑止力になる。
令和６年７月１日
施行

●長野 朝日台配水池設計業務　1,016万円

老朽化のため、200トン貯水槽の建て替えに向けた基本設計。

朝日台配水池を視察

●長野地区 防災拠点　１億1,550万円

議員視察

平常時は、長野地区の集会施設
災害時は、見高地域全体の避難施設
消防団第１分団詰所を併設
※令和６年９月末完成。

●プロジェクト「TOKAI- 0」総合支援事業

木造住宅無料耐震診断３件
ブロック塀耐震改修１件約４万円
緊急輸送ルート等沿道建築物の除却１件３０８万円を補助した。

能登半島地震の被害家屋

町民の役に立ったか！　令和５年度決算

☆町の財政―歳入 歳出について

町税の内訳

- 町民税　3億1,576万円
- 固定資産税　5億8,348万円
- 軽自動車税　2,811万円
- 町たばこ税　5,917万円
- 入湯税　1,944万円

計10億597万円

これらの町税の他に
地方譲与税・法人事業税・地方交付税・地方消費税交付金・国庫支出金・県支出金など
歳入を合計

一般会計歳入合計　50億2,188万円

一般会計歳出合計　48億2,150万円

・差額は基金等に積立

「地方公共団体の財政健全化に関する法律」による健全化判断比率から見て当町は、健全な財政運営を維持していると判断できる。

●バガテル公園　管理　3,000万円

令和５年度より、(株)共立ソリューションズの指定管理に移行し、全体の管理を委託。令和５年度は25,380人が入場。

●通学定期の補助　497万円

令和５年度より新設。
高校生の伊豆急線通学定期の半額補助。131件

●風土の森　管理費　234万円

バガテル公園に隣接した伊豆の自生植物を観察できる施設。遊歩道の整備、植栽植物の管理を実施。

●ふるさと納税(個人)寄付は2008件

1億3,312万円(前年比97.1%)

令和５年度決算審査特別委員会　付帯意見

1．近年の異常気象や南海トラフ地震臨時情報などを考慮した防災計画の見直しを適宜行い、防災士の活用も含め万全を期されたい。

2．老朽化し、浸水域にある消防河津分署の移転は、防災公園完了までの時間的猶予がない。移転候補地を早期に再検討されたい。

3．町民の健康維持のため、帯状疱疹や子供のインフルエンザなどの任意予防接種の補助制度を導入されたい。

4．風土の森は過去順調に活用されているとは言えない。今後の方向性を抜本的に見直しされたい。

令和６年第３回町議会定例会（抜粋）

令和６年度第３回定例会が９月３日～13日の11日間の日程で開催された。
報告事項２件、承認案件１件、条例案件３件、契約案件１件、補正予算３件、決算認定８件、追加議案として補正予算１件の20議案を審議し、すべて承認・可決した。
なお、決算認定案件は決算審査特別委員会に付託され、付帯意見を付して認定された。

●令和５年度決算に基づく河津町健全化判断比率の報告について

実質赤字比率、連結実質赤字比率がなく、また実質公債費率5.9％、将来負担比率も充当可能財源等が上回った。

●令和５年度決算に基づく河津町公営企業の資金不足比率の報告について

水道・温泉事業に対し資金不足なしとの報告があった。

●河津町国民健康保険条例の一部を改正する条例について

マイナンバーカードと健康保険証が一体化されることに伴い、国民健康保険法が改正されることから、条文の改正がなされた。

●令和６年度河津町一般会計補正予算（第４号）専決処分

急激な物価高で、低所得世帯から中間所得世帯までが家計を圧迫されており、収入に対する生活費の割合が大きくなるため、定額減税補足調整給付金及び新たな住民税非課税世帯臨時特別給付金を早期に実施するため専決処分とした。

追加議案

●令和６年度河津町一般会計補正予算（第６号）

お出かけ支援タクシー事業実証実験に伴う補正予算

1. 実証実験の目的

河津町第５次総合計画の基本計画である「豊かな自然と共生し、快適で利便性のあるまちづくり」の実現のため、公共交通の利用が困難で外出を控えている町民の新たな外出促進策として、効果的な施策を検討してきた。現在まで町内の公共交通空白地の４地区を町バス試験運行として実施しているが、毎年の利用者数は減少傾向にあり、かつ固定化しており、新たな交通システムとして貸切タクシーを利用した実証実験を行う。

2. 実証実験の内容

移動困難者の外出促進を図るため、タクシーを活用した定額料金で町内の目的地まで移動を可能とする移動サービスの実証実験を年内に実施する。この実験により、今後の有効性及びニーズの調査を行う。

主な入札結果

建設工事等の名称	受注者	契約金額（円）	概要
県単独治山（補助）事業大鍋地区星原治山工事	斎藤土木（株）	44,220,000	土砂流出を防ぐことを目的に谷止工から流末までを３か年をかけて施工。今年度が２年目。
花卉園駐車場整備工事	（株）大塩組	25,949,000	花卉園の利便性を図るため駐車場を増設する。
道路メンテナンス事業町道下佐ケ野清水沢・下天川線（天川橋）撤去工事	東海建設（株）	28,160,000	天川橋撤去工事。２か年計画。今年度が初年度。

町政を問う　一般質問

河津桜観光交流館で販売中の漬物類

動画にて議会の様子がご覧頂けます

渡邊昌昭（わたなべまさあき）議員

質問　食品衛生法改正と6次産業への対応は

答え　相談に応じ、利子補給制度を紹介する

質問　**令和3年食品衛生法が改正され、移行期間の過ぎた本年6月から許可を得なければ出荷できなくなった。施設の整備や書類の作成などに高齢や小規模により廃業する方がいる。農家による「おふくろの味」「田舎の味」として河津桜観光交流館などのファーマーズマーケットの目玉だった漬物類の販売が規制され商品が減ったが相談はないか。**

町長　特に相談はない、該当する制度について相談には対応したい。

質問　**相談する窓口はどこになるのか。また具体的な支援制度はあるか。**

町長　商売的な相談は産業振興課になるし、保健衛生的になれば健康増進課になると思う。

産業振興課長　許可に関する支援はないが、施設整備等に係る支援として、農業関係では農業近代化資金利子補給制度や補給金制度がある。商工関係では経営改善対策貸付金利子補給制度がある。

質問　公共交通の進捗は

答え　実証実験を検討中

質問　**昨年常任委員会として公共交通、特に町バスについて提言がなされたが、どのように進展させていくのか。**

町長　実証実験に取り組むべく事業者などと折衝を進め、高齢者などの町民を対象とした予約制貸し切りタクシーによる利用実証実験の見込みができつつある。

企画調整課長　2台のタクシーを利用した町民向けのサービスを検討中。高齢者や障がい者の町民で事前に利用登録をした方を有料での利用を検討している。

質問　**早急な対応が必要だが、その計画はもう決まっているのか。**

町長　まずは実証実験をやってみたい。

企画調整課長　実証実験の内容や費用を議会に示し、予算化できれば12月に実験を行い、議会や地域交通会議の審議を経て、来年度以降の実施を目指したい。

他　居住外国人への対応について　1件

町政を問う　一般質問

大川良樹（おおかわよしき）議員

動画にて議会の様子がご覧頂けます

都市計画道路「浜峰線」未整備区間

質問　人力車の誘致ができたら町は協力するか

答え　桜テラスも含め検討したい

質問　**観光庁の補助金を活用した事業はどのようなものがあるのか。**

産業振興課長　令和４年度のｅバイク事業から令和５年に２件、令和６年に４件採択を受けている。

質問　**そのなかのひとつ桜テラスの今後の活用策については。**

町長　河津桜まつりを含めて年間の利用をどうするかが今後の課題。

質問　**高付加価値を付けたインバウンド誘客の為、人力車観光を付けたツアー造成や観光プロモーションはできないか。**

町長　運行場所、物的、人的な確保、安全面でも検討が必要。具体的な構想があるなら担当課へ。

質問　**来年の第35回河津桜まつりのイベントのひとつとして、もし人力車を誘致できたら町は協力いただけるのか。**

町長　インバウンド誘客はいろいろな対策や工夫が必要、桜テラスや人力車も含め、今後の検討をしていきたい。

質問　都市計画道路「浜峰線」を事業推進させる思いは

答え　できるだけ早い時期に完成を

質問　**昨年度、都市計画道路「浜峰線」の測量設計業務委託料として１３３０万円もの単費で成果品が完成し、今後このお金を生き金にするのも死に金するのも執行権を持つ町長にしかできない。この道を事業推進させる思いは。**

町長　地権者との話し合いについても材料が無く、また伊豆縦貫自動車道が一部開通したこともあり、ぜひ将来に向けて事業推進しなければと言う思いで今回測量設計を行った。

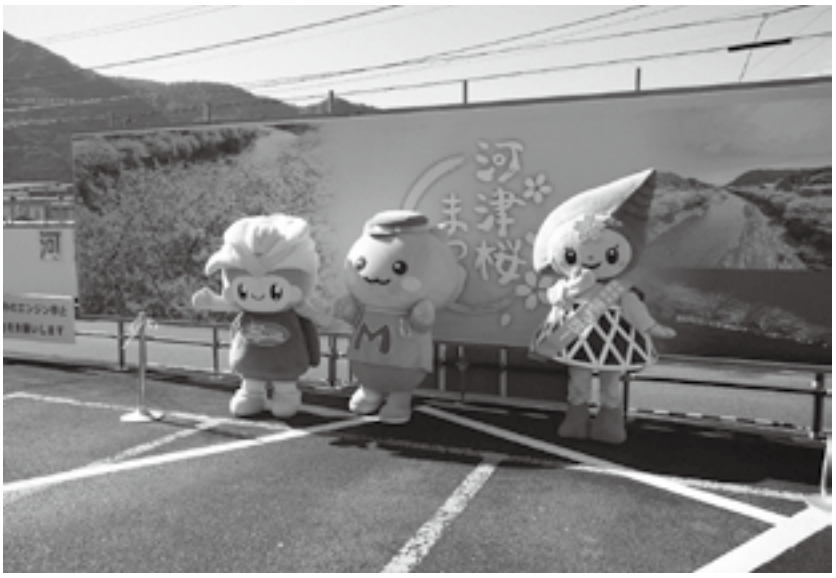
それにより、地権者の方も自分の土地がどうなっているのか見えてきたこともあるので、その点では大変大きな進展だった。

いろいろな経緯があったなかで、地権者の方々との折衝も含め、現在担当課も一生懸命進めているので、何とかできるだけ早い時期にこの道路が完成できるよう努力したいと思う、またそういう決意で今後も進めたいと思っている。

町政を問う　一般質問

北島正男（きたじままさお）議員

動画にて議会の様子がご覧頂けます



町のイメージキャラクターはバラではない。

質問　通行量激減に対する施策はどうなったか

答え　誘導看板は難航しているが継続作業中

質問　**「道路開発の利点と懸念」道路が開発されるメリットは、誰もが恩恵を受ける好影響であるが、反面悪影響は最小にする努力が必要。伊豆縦貫ができて町の経済を打撃しているが被害の縮小化策の一つ「誘導看板戦略」はどうなったのか。**

町長　商工への影響は理解している。以前より東伊豆町と協働の施策は、県の協議が整わず遅れている。

産業振興課長　県の土木事務所折衝は規制が多く難航。民間の土地は交渉中だが見通しは立っていない。引き続き作業していく。

質問　**縄地落合線も認可され同時に開発される下田北インターに繋がり河津市街への流入車両の減にさらなる拍車がかかるがその対策は。**

町長　災害関連道路の役割が大きく縄地地区の災害時にとても役に立つ。

建設課長　国道１３５号通行止め時の代替路で災害時の輸送確保となる。

質問　河津町のイメージをどうＰＲしていくか

答え　イメージづくりは大事と思っている

質問　**先の子ども議会で「もっと河津のＰＲを」とあり、同年代の賀茂地区以外の人には河津桜で有名は伝わらない。同様に、伊豆の踊り子も小説や映画を目にしない若い世代には通用しなくなる。河津町の素晴らしさをＰＲしていく早道の一つはキャラクターの設定です。**

町長　**町のイメージキャラを平面と立体で町民主体の公募で盛り上がりながら作っていくことを実行しませんか。**

河津町のイメージづくりが大事であることは承知している。町の人のキャラクター開発は、町が盛り上がり一つの案としてあるが、個人的にはイメージがつかみにくく、ＰＲ方法は、幅広く考えていく。

質問　**河津桜まつりのオープニングで、主催者として、さくらのイベントにバラのガッテル君は相応しくないのでは。**

町長　いままであまり考えていなかったが、今の状況では致し方ない。

町政を問う　一般質問

正木誠司（まさきせいじ）議員

動画にて議会の様子がご覧頂けます

町で一番大きな指定避難場所　保健福祉防災センター

質問　非常災害対策について

答え　様々な対策を行っている

質問　**日本で初めて発せられた南海トラフ地震臨時情報だが、予め防災用品を避難所に持ち込む事は可能か。また鍵付きボックスを用意できるか。**

町長　防犯の面から鍵付きの棚が良いと思う。

防災課長　現時点では事前持ち込みは想定していない。

質問　**子どものミルクやおむつ、女性の衛生用品等の備蓄は。**

町長　ある程度は備蓄している。衛生用品等はスーパー等と協定を結びストック品を提供して頂くようになっている。

防災課長　幼児用のミルクや食料品の備蓄はある。おむつは無い。

質問　**津波一時避難場所の舗装や階段整備は各区が行うのか。**

町長　上限１００万円の災害用避難路施設整備事業補助金があり、原材料費や重機や機械の借上げ料等に使える。詳細は担当課に相談してもらい、整備が必要な場合は活用してください。

質問　来年度クーリングシェルターの設置は

答え　法に則り運用

質問　**近年の夏の暑さは尋常ではなく来年も猛暑が予想される。町としてクーリングシェルターの設置は検討しているか。**

町長　気象状況や国の方針等も踏まえ、必要あればクーラー等の効いた公共施設の使用について検討したいと考えている。

健康増進課長　国内の熱中症死亡者数の増加により国は気候変動適応法を改正し、新たにクーリングシェルターに関する規定が設けられた。また現状の熱中症警戒情報より１段上の熱中症特別警戒情報が制定された。今年は熱中症特別警戒情報が発せられなかったが、来年度に発せられた場合は法に則って運用していく。参考として今年度河津町では熱中症で６人が病院へ搬送された。

質問　**クーリングシェルターまで移動が困難な子供や高齢者の移動手段はどうするのか**

町長　移動手段について現状の段階では考えていない。

議会改革特別委員会

町政のチェック機能をしっかり果たすため、より良い議会運営を
議員 10 人全員で協議し、改善すべき課題を抽出し解決を図っていく。

議会改革

令和６年６月の第２回定例会以降、６月２１日、７月１９日に特別委員会を開催。
令和６年９月の第３回定例会において「委員会調査報告書」を議長に提出した。

〈議会活動の改革に関する調査の結果〉

（1）DX 推進について

ＬＩＮＥワークスを活用し、情報の即時提供やスケジュール管理、通知文のペーパーレスを実施した。またフェイスブックを活用し迅速な情報提供を実施した。

（2）反問権の付与

議論の論点・争点の明確化を図り、より分かりやすく開かれた議会を目指すため、議員の質問・質疑に対して執行者に反問権を付与することとした。

（3）議員のなり手不足について

① 議員のなり手不足問題の議論を重ね、議員報酬の低さは大きな問題のひとつと認識し、適切な報酬額を町特別職報酬等審議会において審議してもらえるよう要望し、今年度から報酬額が改定された。

② 議員活動の理解促進や身近に感じてもらえるための方策について研究を継続。

＊河津町議会人事の改変に伴い、議会改革特別委員会は新たに委員長・副委員長を選任し引き続き議会改革に取り組んで参ります。

ー　渡邉弘委員長より　ー

河津町議会は令和４年10月に現体制となり、議員全員の総意で約２年に渡り議会改革に取り組んできました。ここまでの取り組みを中間報告として議長に提出しましたが、引き続き新委員長の下で議会改革に取り組み、町民の皆さんが分かり易く信頼される河津町議会を作っていきましょう。

委員長・副委員長

議会改革特別委員会／委員長 渡邉弘議員・副委員長 宮崎啓次議員・委員 全議員

第1常任委員会

6月6日
河津町公共施設整備計画推進委員会の答申を踏まえ、町有財産の活用について協議

7月5日
委員会調査報告書の素案を作成

7月29日
委員会調査報告書(案)の内容を精査

【調査報告書】
調査事件
町有財産の活用に関する件
調査の結果
文科省の廃校プロジェクトへの参加だけに留めず、待ちの姿勢ではなく、能動的に段階的な方策を取るべき
(1)町と関連のある事業者と利活用の可能性の検討(大和リース、共立メンテナンスなど)
(2)業種を絞って利活用の可能性を打診する(介護系事業者、宿泊系事業者、渋谷区など)
(3)町として開発補助予算を付けたり、道路管理を担うか検討
(4)町民への開放の検討(災害時と平時)
情報開示の留意点として、町民の理解を得るために各種関係団体への説明が必要とされる。
(1)地元説明会
(2)町民への説明会
(3)産経連や町関係団体への説明会

旧西小学校全景

第2常任委員会

7月16日
第一回河津町青少年問題協議会　委員長出席

8月7日
河津町都市計画審議会第1・第2委員長出席

8月8日
河津町自衛隊協力会理事会　委員長出席

議員月例会

7月19日
「南禅寺の仏像群について」
◆講師
上原美術館上席学芸員
田島 整 氏
◆参加者
河津町議会議員
河津町民応募者15名
◆講義内容
・谷津区が管理する26駆の仏像・神像群が今秋に国の重要文化財に指定の見込みとなった。(8月27日に正式指定)
・谷津区には奈良時代に創建された那蘭陀寺という大寺があったが、山崩れにより一夜にして埋没してしまったと伝えられている。
・谷津区や町が発掘調査を行い、掘り起こされた仏像・神像群は、伊豆ならんだの里「河津平安の仏像展示館」で一般公開されている。
・奈良・平安時代の仏像は東日本には非常に少なく、なぜ河津町にこれだけの仏像が安置されていたのか。
・田島先生の学説では、仏像群が作成された奈良～平安時代に神津島の大規模噴火が頻発し、その爆発音が京都まで届いたため、噴火を鎮めるため京都から河津へ仏師を派遣し仏像を作成・安置したとの仮説を立てた。
・今後も古文書等の解読や研究を続け仏像・神像群の歴史を解明していきたい。

月例会に町民も参加

講師の田島氏

議会のうごき

遠藤嘉規 議長

議会議長会事業・議長に要請のあった諸会合等　13件
町議会活動　9件
常任委員会活動　11件
一部事務組合活動　4件
例月出納検査結果報告・監査結果報告　4件
その他委員会活動　3件

議会の詳しい活動は、Facebookに随時掲載しています。

Facebookで
議会活動を発信中

一部事務組合

伊豆斎場組合

8月28日
定例会

令和5年度決算
　4694万円
加入団体別負担金
下田市1368万9千円
東伊豆町855万4千円
河津町　585万円
南伊豆町645万2千円
　計3454万5千円

令和5年度火葬件数
加入団体別件数
下田市　427件
東伊豆町　245件
河津町　144件
南伊豆町　186件
　計1002件

下田地区消防組合

8月20日
定例会

令和5年度会計歳入歳出決算認定について
　歳入
13億2362万7千円
　歳出
12億8670万1千円

その他専決処分、令和6年度補正予算等を審議し、いずれも可決した。

消防年報（令和5年版）
●119番受信状況
　4596件
うち　火災　22件
　救急　3394件
　救助　45件
　災害　26件
　その他1109件
●火災　26件
河津町内建物　5件
　その他　2件
●救急搬送　3743人
うち河津町　552人

下田メディカルセンター

7月31日
議員勉強会

「下田メディカルセンターについて」
講師　医療法人社団静岡メディカルアライアンス
　浅野好章氏
　木村健吾氏

本年度の取り組みとして10月から、高齢者の救急患者等に対して、リハビリテーション、栄養管理、入院後支援、在宅復帰等の機能を包括的に提供する、急性期と回復期の機能を併せ持つ「地域包括医療病棟」を開設するとの説明があった。
地域における役割を担い、体制を強化し需要にこたえるよう取り組んでいくとのことであった。

8月21日
定例会

病院事業会計の令和5年度決算、令和6年度補正予算など6議案を可決した。

一般質問で議員から旧共立湊病院跡地利用について質問があり、管理者の松木正一郎下田市長は医療施設整備等の利用計画はないと明言。

旧共立湊病院跡地

議会だより第103号
読者アンケート

締め切り
10月末日必着

読者の皆様のご意見を紙面に反映したく、下記のアンケートにぜひご協力ください。
各質問の回答をご記入の上、ＦＡＸ又はメール、郵送（封筒）にて河津町議会事務局宛にお送りください。または、下記ＱＲコードから、ＷＥＢ回答できます。

スマホで簡単にアンケート回答ができます

● 送付先：〒413-0595　静岡県賀茂郡河津町田中212－2
河津町役場 議会事務局
※切手代などは各自ご負担願います。

Ｑ１　「興味を引いた」あるいは「役に立った」記事は？

Ｑ２　「議会だより」の記事で目を通したものは？（□にレ点をつけてください。複数回答可）

□Ｐ．２～Ｐ．４　決算審査特別委員会
□Ｐ．５　定例会
□Ｐ．６～Ｐ．９　一般質問
□Ｐ．10　議会改革特別委員会
□Ｐ．11　常任委員会
□Ｐ．12　議会のうごき・一部事務組合ほか
□Ｐ．14～Ｐ．15　議会の新編成
□Ｐ．16　私の一言・編集後記

Ｑ３　議会だよりに対する満足度は、どのくらいですか？（□にレ点をつけてください。）

□１．大変満足　□２．まあまあ満足　□３．もう少し　□４．不満

Ｑ４　議会だよりの記事への感想、取り上げてほしいテーマなどがあればご記入ください。

抽選で５名様に「河津踊り子温泉会館入浴券」プレゼント‼

アンケート回答者の中から抽選で、５名様に「河津踊り子温泉会館入浴券」を差し上げます。
なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

お名前（任意）	
ご住所（任意）	
連絡先（任意）	

無記名でも回答いただけます。ただし、プレゼントの対象にはなりません。

お寄せいただきました情報は、議会だよりで紹介させていただく場合があります。また取材、原稿依頼等をさせていただく場合は、広報常任委員会より改めてご連絡差し上げます。ここでいただきました個人情報は、上記の目的以外に使用することはございません。

議会事務局　TEL0558－34－1957

FAX 番号 0558−34−1405
E-mail:gikai@town.kawazu.shizuoka.jp

議会人事刷新

令和６年第３回定例会において議会の人事が刷新されました。
各議員気持ちも新たに頑張ります！

議長挨拶

渡邉　弘

河津町議会の議長の大役を仰せつかり感謝の気持ちとともに身の引き締まる思いであります。

抱負として「町民の皆様と共にある議会」を目指してまいります。そのためには今まで取り組んできた議会改革の継続と推進を図り、町民の皆様との距離感の解消を目指し情報の開示など積極的に取り組んでまいります。

議会は町行政のチェック機関です。議会の議決なくして事業は進みません。行政とはしっかり議論をして町民のためになる施策を進めて行く事が必要です。

議員は町民の代表です。町民の皆様の意見を町に届けることが議会の大きな役目です。ぜひ皆様の意見を町に届けてまいりたいと思っておりますのでご提案ください。

人口減少など大きな問題も山積しておりますが町当局とは議論を重ね町民のためになる施策に取り組んでまいります。

開かれた議会を目指してまいりますのでご協力よろしくお願い申し上げ就任のご挨拶とさせていただきます。

副議長挨拶

桑原　猛

私たち議会は、地域の皆様の声を反映し、より良い社会を築くための重要な役割を担っています。私は、議長をはじめとする議員と共に、透明性のある議論を重ね、建設的な意見交換を行い、地域の発展に寄与できるよう努めてまいります。

また、議会の活動が町民の皆様にとって身近で理解しやすいものであるよう、情報発信にも力を入れていきたいと考えております。皆様のご意見やご要望を大切にし、共に歩んでいけるよう努力してまいります。

最後に、今後とも皆様のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。共に力を合わせ、より良い未来を築いていきましょう。

監査委員挨拶

宮崎　啓次

地方自治に取りまして経済的に厳しい時代が続いております。

地方行財政の健全かつ効果的な運営が出来ますよう、議会選出監査として職務に務めたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

第1常任委員会

渡邉弘 委員　北島正男 委員　宮崎啓次 委員
大川良樹 委員長　上村和正 副委員長

委員長挨拶　大川良樹

第1常任委員会は、町民の生活に直結した委員会であることから、町民の身近に感じる課題を解決できるよう、前委員会が町に対し提言したように活発な委員会活動を推進し、具体的な問題解決に取り組みたい。

第2常任委員会

正木誠司 委員　桑原猛 委員　稲葉静 委員
遠藤嘉規 委員長　渡邊昌昭 副委員長

委員長挨拶　遠藤嘉規

当委員会は産業振興課、建設課、水道温泉課、防災課、教育委員会の担当で、町民の皆さんの暮らしに身近な部門。今期の活動方針として、防災減災を主要テーマに各課を見て、安心安全な町を目指し活動していきたい。

広報常任委員会

大川良樹 委員　北島正男 委員　桑原猛 委員
渡邊昌昭 委員長　正木誠司 副委員長

委員長挨拶　渡邊昌昭

議会の活動内容を町民の皆様に発信する委員会としてまずは議会広報紙を手に取っていただけるようわかりやすい広報紙づくりを目指します。
皆様の町に対する意見を取り入れやすい環境を作ります。

人事一覧

議長　渡邊弘

副議長　桑原猛

監査委員　宮崎啓次

第1常任委員会
委員長　大川良樹
副委員長　上村和正
委員　北島正男
委員　渡邊弘
委員　宮崎啓次

第2常任委員会
委員長　遠藤嘉規
副委員長　渡邊昌昭
委員　正木誠司
委員　桑原猛
委員　稲葉静

広報常任委員会
委員長　渡邊昌昭
副委員長　正木誠司
委員　北島正男
委員　大川良樹
委員　桑原猛

議会運営委員会
委員長　桑原猛
副委員長　大川良樹
委員　渡邊昌昭
委員　遠藤嘉規
委員　上村和正

一部事務組合

東河環境センター
大川良樹
稲葉静
宮崎啓次

下田地区消防組合
渡邊昌昭
遠藤嘉規

伊豆斎場組合
正木誠司
上村和正

下田メディカル組合
北島正男
桑原猛

～私の一言～

「盆踊りのお祭り やってみてよかった」

みんなでみんなの盆踊り
実行委員長　北島　正男（議員）

８月３日開催の「みんなでみんなの盆踊り」は、楽しんでいただけましたでしょうか。事の起こりは、「町の盆踊りが消えてしまいそう」「子供と一緒に楽しめる場がなくなった」と言う町の人の声に押されて復活の企画書を書き、同時に協力隊の榎原なつ美さんが、盆踊りやりたいと言って一緒に進めました。が、実は二人とも移住者なので、河津町の盆踊りを知らない(笑い)。

議員の桑原さんやつつけんさんをはじめ「みんなでみんなの」主旨のとおり町の５団体と議会、多くの人が協働し実行に至りました。

踊りの練習会の講師陣も頑張ってくれました。

「来年もずーとやってね。」と言う声を沢山いただき、町の文化である盆踊りの継承と、楽しみの場となるよう、やる気になっております。

多くの皆様のご参加に、感謝感激でございます。

←河津の盆踊り曲
・河津総おどり
・河津ばやし
750人を超えるみんなが来場。

売り子のおやじに徹して一緒に楽しむ議員さん →

「猫も河童も踊りだす 河津盆踊り」

みんなでみんなの盆踊り
全体統括
榎原　なつ美（地域おこし協力隊）

河津町へ移住し協力隊として活動をしてきて４年になります。来年３月で任期を終了します。色々なイベント企画運営をさせて頂きましたが、最後の年にみんなが参加し楽しめる盆踊りをしたいと思っていたので、議員の北島さんに声をかけて頂き、実行委員として開催に向け準備をしました。今回なんといっても、皆さんの頭の片隅に残っている「河津総おどり」と「河津囃子」の記憶を形にする事が思った以上に大変でした。資料が曲以外なく、色々な方の記憶のご協力により踊りが甦りました。８月３日の祭り当日は、昔踊った方も初めて踊る方も、一緒に河津の盆踊りを踊る事が出来ました。初めて開催する大変さはありましたが、周りの皆様のおかげで実現しました。ありがとうございました。

←踊りの講師陣と参加してくれたシニアクラブメンバー

オープニング鳥酒精進太鼓の様子 →

編集後記

広報常任委員長を２年間務めさせていただきました。この間意見交換会の場を各常任委員会で実施していただき、町民の皆様のご意見を『議会だより』に反映することが出来ました。意見交換会に参加していただいた皆様ありがとうございました。引き続き多くの町民の皆さまに身近に感じてもらう紙面づくりを後任に委ね、編集後記とさせてもらいます。（桑）

広報常任委員会
委員長　桑原　猛
副委員長　北島正男
委員　正木誠司
〃　大川良樹
〃　渡邊昌昭

次回定例会は12月開催予定です。

発行：河津町議会　編集：広報常任委員会　〒413-0595 静岡県賀茂郡河津町田中212　☎0558(34)1957　gikai@town.kawazu.shizuoka.jp

議　会　傍　聴　歓　迎　し　て　お　り　ま　す。